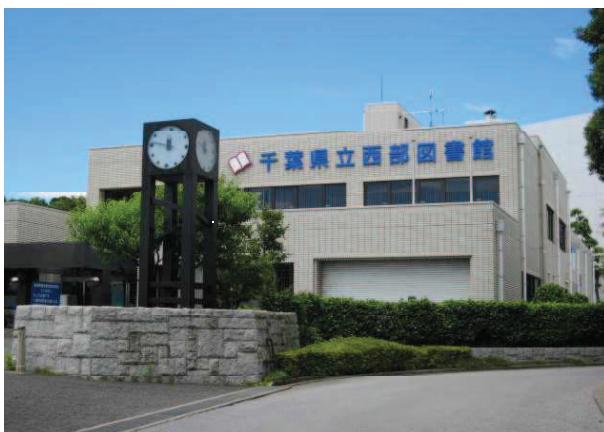


# 要 覧

平成 23 年度



中央図書館



西部図書館



東部図書館

千葉県立中央図書館  
千葉県立西部図書館  
千葉県立東部図書館

# ◇◇ 目 次 ◇◇

## I 千葉県立図書館運営方針

基本方針 .....	1
平成23年度事業計画 .....	2
平成23年度図書館サービス目標 .....	11

## II 事業報告

平成22年度事業報告 .....	13
平成22年度千葉県立図書館の運営状況の評価 .....	21

## III 資料編

1 沿革 .....	23
2 組織・職員 .....	29
3 施設の概要 .....	30
4 予算 .....	42
5 統計資料 .....	43
6 図書館利用規則 .....	55
7 県内公立図書館設置状況 .....	57
8 県内公共図書館・図書館未設置市町村読書施設一覧 .....	58
9 利用案内 .....	61
10 交通案内 .....	61

# I 千葉県立図書館運営方針

県立図書館は、法令及び千葉県図書館協議会答申等を踏まえ、県民の生涯にわたる多様な学習要求に応え、県民が等しく図書館サービスを享受し、県民文化の向上に寄与するよう、下記の基本方針に基づき、事業計画及び図書館サービス目標を定める。

## 【基本方針】

- 1 県立図書館は、中央、西部及び東部図書館の3館が一体となって県民の多様化した図書館サービスへの要求に応えるものとし、県内公共図書館、高等学校図書館及び大学図書館等との連携を図りながら、県内図書館サービス全体の向上を図るものとする。
- 2 県立図書館は、県内の中核的調査研究図書館としての機能を発揮するものとし、必要な資料収集及びレファレンス機能の向上に努めるとともに、本県関係資料の最終保存館としての機能の強化を図る。
- 3 県立図書館は、公共図書館ネットワークの中心館としての機能を発揮するものとし、市町村立図書館の求めに応じた援助や学校図書館との連携強化等を図る。
- 4 県立図書館は、図書館未設置市町村の読書施設に対し、補完サービスを行うとともに、当該市町村の求めに応じた必要な援助を行う。
- 5 県立図書館は、県内公共図書館職員の資質向上のための研修の充実に努める。
- 6 県立図書館は、「千葉県立図書館のサービス評価指標」の達成に努めるとともに、達成状況の自己点検及び第三者評価を行う。

## 【平成23年度県立図書館事業計画】

県立図書館は、県立図書館運営方針を踏まえ、中央図書館、西部図書館及び東部図書館の密接な連携を図りながら、図書館サービス指標の達成に努め、次の事業を推進する。

### 〔重点項目〕

#### ○国の地域活性化交付金を活用した事業展開【新規】

- ・県立学校等への調べもの学習支援資料の整備 <中央図書館>
- ・千葉県関係資料（和装本）等の電子化推進 <中央図書館>
- ・新聞（千葉県版）マイクロフィルムの収集・整備 <中央図書館>
- ・施設の環境整備 <中央図書館・東部図書館>

#### ○レファレンスサービスの充実

- ・「図書館海援隊」事業への参加による暮らしに役立つレファレンスサービス事業の充実【新規】 <県立3館>

#### ○学校教育支援の充実

- ・中央エリアの県立学校等への宅配便による資料貸出し【新規】 <中央図書館>

#### ○広報・研修の充実

- ・「県民の本棚」の巡回展示の実施 <県立3館>
- ・市町村立図書館等職員対象の図書館ボランティア研修会の開催【新規】 <西部図書館>

- ・青少年向け課題解決支援講座（インターネット利用・就業支援）の実施【新規】 <西部図書館>

- ・公民館図書室・高等学校図書館担当者への出前講座の実施【新規】 <東部図書館>
- ・東部エリアの市町立図書館、公民館図書室、高等学校図書館と連携した巡回展示の実施【新規】 <東部図書館>

#### ○図書館情報システムの整備

- ・利用者サービス、業務効率、セキュリティの向上を図る新たな図書館情報システム導入に向けた整備 <県立3館>

## 1 資料の収集・整理・保管

### (1) 収集

「千葉県立図書館資料収集方針」に基づき、県民の調査研究活動の支援及び県内市町村立図書館等への協力・援助に資する資料を収集するものとし、特に3館が一体となって県立図書館全体の蔵書構築ができるよう、以下の点に留意し収集に努める。

中央図書館では、千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるほか、官公庁刊行物を始め、関係機関や県内の諸団体、個人の自費出版物等の収集・整備に努める。また、県内における児童サービスのセンター館として、児童資料及び児童書研究資料の充実を図るほか、新たに学校支援用の図書を整備する。

西部図書館では、市町村で整備しにくい自然科学・技術分野の資料収集に努めるとともに、逐次刊行物の蓄積と整備の充実を図る。

東部図書館では、文学・歴史の分野に留意しながら収集に努める。

### (2) 整理

資料の発注から廃棄までの整理業務を電算システムを活用して行うものとし、装備については、バーコードラベル、背ラベル、不正持出し防止用の磁気テープ、フィルムコーティング等を施し、資料の保全を図る。

### (3) 資料整備計画

区分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計	目標値
資料受入冊数	14,020冊	4,950冊	9,330冊	28,300冊	① 28,300冊
(うち購入冊数)	(9,140冊)	(3,350冊)	(7,830冊)	(20,320冊)	
(うち寄贈冊数)	(4,880冊)	(1,600冊)	(1,500冊)	(7,980冊)	
逐次刊行物(購入)	226タイトル	459タイトル	307タイトル	992タイトル	

### (4) 資料の保管

収集した資料を継続的・効率的に維持保存・利用するために、秋春2回（各9日間）の蔵書点検を行う。

### (5) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館等除籍資料を収集・寄贈受入れし、整理する。

## 2 奉仕業務

### (1) 調査相談業務（レファレンスサービス）

#### ア 調査回答

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料だけでなく外部データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や県内図書館等からの調査相談に対し、的確に回答する。

（目標値⑤ レファレンス件数 35,000件）

（目標値⑥調べ方案内（パスファインダー）の作成件数 12件）

（目標値⑨ 千葉県関係レファレンス件数 1,500件）

#### イ レファレンス事例の公開

調査回答事例を国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、県民がホームページで閲覧できるようにする。

（目標値⑦ 国立国会図書館のレファレンスデータベースへの事例提供件数 65件）

#### ウ 千葉県関係データベースの作成

千葉県歴史関係雑誌記事索引（中央、東部）、千葉県関係新聞記事索引（西部）等のデータベースを作成し、レファレンスサービスの充実に努める。

（目標値⑧ 千葉県関係データベース入力件数 5,500件）

#### エ 研修会の開催（中央）

市町村立図書館等職員のレファレンス能力の向上のためレファレンス研修会（基礎研修3回・6月、レファレンスサービス専門研修1回・11月）、地域行政資料研修会（1回、6月）を開催する。

### (2) 閲覧業務

#### ア 資料の館内利用・貸出し

図書及び新聞・雑誌、マイクロ等所蔵資料や、県内外の他の公共図書館からの相互貸借により、資料の提供や貸出し、複製サービスを行う。

（目標値② 来館者数 508,000人）

（目標値③ 来館者満足度 70%以上）

#### イ 各種講座の開催

書庫見学会（中央、毎月第2金曜日・第4日曜日）、図書館活用ミニ講座（中央、毎週金曜日）、図書館まなびトーク（西部、1回・未定）、ワンポイント図書館活用講座（西部、1回・11月）、子どもと親のためのインターネット安全教室（西部、1回・7月）、サイエンスカフェ（西部、1回・9月）、ジョブカフェ出張版（西部、1回・9月）、中高年齢者再就職支援

セミナー(西部、1回・10月)、シルバー向け消費者生活講座(西部、1回・12月)、文学講座(東部、1回・11月)、名作映画鑑賞会(東部、毎月第3土曜日)、図書館の達人初級編・中級編(東部、毎月第2日曜日・毎月第3日曜日)を実施し、県民の学習機会の拡充に努める。  
※図書館まなびトークは、発表希望者が集まり次第開催

ウ 資料の展示

所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、定期的に資料の展示を行うとともに、県民に役立つ課題解決型の企画展示を関係機関の協力を得て年1回以上開催する。

エ 職場体験・インターンシップの受入

中学生・高校生の職場体験、インターンシップの高校生・大学生を積極的に受け入れ、社会教育活動に貢献する。

(3) 障害者サービス

障害のある人達が健常者と同じように資料の提供が受けられるように録音図書の貸出し・製作、対面朗読、図書の郵送貸出し等のサービスを行い、障害者用支援ソフトを組み込んだパソコンを対面朗読室内で提供する。

ア 録音図書の貸出し・製作

希望する録音図書を所蔵資料だけでなく、全国の点字図書館や公共図書館より借り受けて提供したり、所蔵していない場合は自館で製作し貸出しを行う。

(目標値⑭ 録音図書貸出タイトル数 10,000タイトル)

イ 対面朗読

図書館音訳者が対面朗読室で、図書館の資料や、持ち込みの本などを朗読する。

ウ 録音図書のデジタル化

録音テープのデジタル化を推進し、「視覚障害者情報総合ネットワーク(サピエ)」への登録や製作した録音図書の配信等、利用者がインターネットで利用できる環境を整備する。また、D A I S Y編集講座(西部、3回・5~6月)を開催する。

エ 図書館音訳者の養成

録音図書の製作や対面朗読を行う図書館音訳者を委嘱するとともに、図書館音訳者の技術向上に資するため図書館音訳者養成講座を開催する。(中央、2回・1月、西部、3回・11月、東部、5回・11月)

(目標値⑯ 図書館ボランティアの育成者数 280人)

オ 障害者のための読書支援機器活用講座等の開催

視覚障害者、盲ろう者、支援者、県内公共図書館職員等を対象に、活字を読み上げる機器やデジタル録音図書の再生機器、拡大読書器の活用方法を紹介するとともに、視覚障害者情報総合ネットワーク(サピエ)を実際に体験する。(中央、3回・8月~9月、西部、1回・1月)

カ 研修会の開催(西部)

県内公共図書館等職員を対象に、公共図書館における障害者サービスの向上を図るために、障害者サービス研修会を開催する。(1回・6月)

キ 障害者のための点字ディスプレイ活用講座

対面朗読室に設置している、音声読み上げ・点字表示対応パソコンの便利な利用方法を解説する。(中央、1回・11月)

ク 障害者のための電子書籍活用講座

音声読み上げや拡大表示等、電子書籍の便利な利用方法を解説する。(中央、1回・12月)

(4) 児童サービス(中央)

ア 来館者サービス

資料の貸出しのほか、定例おはなし会(毎週土曜日)やちいさいひとのおはなし会(1回・4月)、冬のおはなし会(1回・12月)、アドベンチャーライブラリー(1回・8月)を開催する。

(目標値⑫ 児童書の資料貸出冊数(相互協力冊数を含む) 35,000冊)

#### イ 市町村立図書館や学校図書館への援助

県内の児童サービスのセンター館として、図書館や学校等への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行うとともに、県内の子どもの読書活動に関する調査研究を行う。

なお、学校図書館運営の充実や子どもの読書活動の推進については、生涯学習課、指導課及び特別支援教育課と連携して、その方策を検討していく。

#### ウ 研修会の開催

「児童サービス基礎研修会」を年4回（6、7、9、11月）開催し、県内公共図書館等児童サービス担当職員の養成に努める。（目標値⑬ 児童サービス研修会の開催回数 6回）

なお、研修内容については、質的充実を図るため、県内公共図書館や学校図書館のニーズ調査を踏まえ、検討を進める。

#### エ 読み聞かせボランティアの養成

「子どもの本の読み聞かせ講座」を県内2地域で開催するとともに（8月（旭市）・2月（山武市））、市町村が実施する子どもの本の読み聞かせボランティアを養成する講座に講師を派遣する。

（目標値⑯ 図書館ボランティアの育成者数 280人）

#### オ 障害者用資料の製作

児童資料の録音図書や点訳絵本を製作する。

講座等実施事業一覧（研修事業は別掲）

事 業 名	中 央	西 部	東 部
書庫見学会	第2金曜日 第4日曜日		図書館の達人 初級編 毎月第2日曜日
図書館活用講座	毎週金曜日	ワンポイント図書館活用講座 11月	図書館の達人 中級編 毎月第3日曜日
子どもと親のためのインターネット安全教室		7月9日（土）	
障害者サービス入門講座	7月12日（火）		
県民の本棚 みんなが選んだ 「ちばの一冊」	巡回展示「県民の本棚～でいい、ふれあい、『ちばの100冊』～」 西部図書館 4月16日（土）～5月17日（火） 東部図書館 5月21日（土）～6月14日（火） 中央図書館 6月18日（土）～7月31日（日）		
図書館まなび トーク		未定	
サイエンスカフェ		9月10日（土）	
ジョブカフェちば 出張版		9月9日（金）	
中高年齢者再就職 支援セミナー		10月14日（金）	
文学講座			11月12日（土）
名作映画鑑賞会			毎月第3土曜日
図書館音訳者養成 講座	1月11日（水） 1月18日（水）	11月2日（水） 11月9日（水） 11月30日（水）	11月1日（火） 11月8日（火） 11月15日（火） 11月22日（火） 11月29日（火）
DAISY編集講座		5月25日（水） 6月10日（金） 6月29日（水）	

事業名	中央	西部	東部
障害者のための読書支援機器活用講座	8月25日（木） 9月6日（火） 11月15日（火）	1月25日（水）	
障害者のための点字ディスプレイ活用講座	11月8日（火）（予定）		
障害者サービス入門講座	7月12日（火）		
障害者のための電子書籍活用講座	12月6日（火）		
シルバー向け消費者生活講座		12月9日（金）	
定例おはなし会	毎週土曜日		
ちいさいひとのおはなし会	5月27日（金）		
冬のおはなし会	12月3日（土）		
アドベンチャーライブラー	8月26日（金）		
子どもの本の読み聞かせ講座	8月19日（金） 2月2日（木）・3日（金）（予定）		

### 3 協力・援助業務

#### (1) 図書館協力業務

##### ア 資料の図書館間貸出し及び複製

県内各市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行う。また、所蔵資料の複製も受け付ける。

（目標値⑯ 県立図書館蔵書貸出冊数 94,000冊）

（目標値⑰ 市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数 85,500冊）

##### イ 図書館連絡車・協力車巡回

業者委託により県立3館の間で連絡車を巡回させるとともに、県内の全ての市町村に対し、週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館間等の相互貸借の資料を搬送する。

##### 【連絡車・協力車巡回コース】

##### 《県立間連絡車巡回コース》

曜日	図書館名
火・木曜日	県立中央 → 県立東部 → 県立西部 → 県立東部 → 県立中央

##### 《中央図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	火曜日 金曜日
巡回施設	館山市図書館 南房総市千倉図書館 鴨川市立図書館 勝浦市立図書館 御宿町公民館 いすみ市夷隅公民館 大多喜町立図書館天賞文庫 睦沢町中央公民館 一宮町まちの図書室	鋸南町立中央公民館 富津市移動図書館 君津市立中央図書館 木更津市立図書館 袖ヶ浦市立中央図書館 市原市立中央図書館 長柄町中央公民館 長南町中央公民館 長生村文化会館 白子町青少年センター 茂原市立図書館	ふれあいプラザさかえ 成田市立図書館 富里市立図書館 八街市立図書館 酒々井町立図書館 佐倉市立佐倉南図書館 四街道市立図書館 千葉県教育振興財団 八千代市立大和田図書館 習志野市立大久保図書館 千葉県立保健医療大学 千葉大学附属図書館本館 千葉大学附属図書館亥鼻分館	千葉市

《西部図書館協力車巡回コース》

コース名	A コース	B コース	C コース	来館
曜日	水曜日	金曜日	木曜日	金曜日
巡回施設	千葉大学附属図書館松戸分館 松戸市立図書館 流山市立中央図書館 千葉県立流山おおたかの森高等学校 野田市立興風図書館 さわやかしば県民プラザ 千葉県立柏の葉高等学校 千葉県立東葛飾高等学校 柏市立図書館 我孫子市民図書館 千葉県立沼南高等学校 千葉県立沼南高柳高等学校 千葉県立松戸六実高等学校 千葉県立柏陵高等学校 千葉県立松戸国際高等学校	印西市立大森図書館 白井市立図書館 千葉県立白井高等学校 鎌ヶ谷市立図書館 千葉県立鎌ヶ谷高等学校 船橋市北図書館 市川市中央図書館 浦安市立中央図書館 千葉県立浦安南高等学校 千葉県立市川南高等学校	千葉県立松戸高等学校 千葉県立松戸馬橋高等学校 千葉県立小金高等学校 流通経済大学付属柏高等学校 柏市立柏高等学校 千葉県立柏高等学校 千葉県立柏中央高等学校 芝浦工業大学柏高等学校 千葉県立柏南高等学校 千葉県立船橋北高等学校 千葉県立船橋豊富高等学校 千葉県立船橋古和釜高等学校 千葉県立薬園台高等学校 千葉県立船橋東高等学校 船橋市立船橋高等学校 千葉県立船橋啓明高等学校 千葉県立船橋法典高等学校 千葉県立市川東高等学校 千葉県立市川工業高等学校 千葉県立国府台高等学校 千葉商科大学附属高等学校 千葉県立松戸向陽高等学校 松戸市立松戸高等学校	松戸市

《東部図書館協力車巡回コース》

コース名	A コース	B コース	C コース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	随時
巡回施設	匝瑳市立八日市場図書館 横芝光町立図書館 芝山町中央公民館 多古町コミュニティプラザ図書室 千葉県立多古高等学校 神崎ふれあいプラザ 千葉県立佐原白楊高等学校 香取市立佐原中央図書館 千葉県立佐原高等学校	銚子市立銚子高等学校 千葉県立銚子商業高等学校 千葉科学大学 銚子市公正図書館 東庄町図書館 千葉県立小見川高等学校 千葉県立東総工業高等学校 旭市図書館	九十九里町中央公民館 大網白里町図書室 千葉県立東金高等学校 東金市立東金図書館 城西国際大学 千葉県立成東高等学校 山武市成東図書館 千葉県立松尾高等学校	千葉県立旭農業高等学校 千葉県立匝瑳高等学校

ウ 協力レファレンス

市町村立図書館からの所蔵調査・資料調査・事項調査等の調査・相談等に対し、外部データベースや図書館資料を使って援助を行う。

エ 高等学校・大学・類縁機関等との連携

県内の類縁機関や大学、高等学校等と連携し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行う。

資料搬送手段：協力車（西部・東部図書館）、宅配便（中央図書館、9月開始）

**オ 担当者会議の開催**

市町村立図書館等の相互協力担当職員を対象に、相互協力の円滑な推進を図るための会議を実施する。

**(2) 研修事業**

県内図書館等職員のスキルアップのため各種研修会を実施する。後掲「研修業務」参照  
(目標値⑯ 研修会の参加者数 500人)

**(3) 図書館運営相談**

図書館の管理・運営やサービスの内容に関する質問等を市町村立図書館等から受け付け、あるいは定期的に施設訪問し、図書館運営相談に応じる。また、状況に応じて調査を行う。

東部図書館で行っている運営相談巡回を活用し、東部地域の公民館図書室・高等学校図書館の職員を対象とした資料検索研修の出前講座を実施する。

**(4) 図書館未設置市町村援助**

図書館未設置の公民館図書室など読書施設に対し、資料の貸出しや協力レファレンス、運営相談等の援助を行う。

**(5) その他**

**ア 行政支援**

県民生活の維持向上等に係る施策を企画・立案している県庁各課等へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行う。

**イ 新聞・雑誌総合目録の整備**

県内公共図書館や文書館行政資料室、県立保健医療大学図書館、さわやかちば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を毎年更新してホームページ上で公開する。

**ウ 読書活動援助**

県内の読書活動を推進するため、千葉県読書グループ連絡会と協力して、千葉県読書グループ研修会を開催する。また、読書会用テキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫の整備を進める。

**エ 資料の巡回展示**

東部地域の市町立図書館・公民館図書室等と連携し、東部図書館で実施した企画展の巡回展示を行う。

**4 広報・啓発業務**

県立図書館の機能・役割を県民に広く周知するために、「要覧」、「図書館報」「利用案内」、掲示等による広報、ホームページでの情報発信とともに、次のことを行う。

**ア 「県民の本棚」3館巡回展示**

イ 図書リスト、パスファインダーの作成・配布（県立3館）

ウ 児童図書の充実（中央図書館）

エ おはなし会の充実（中央図書館）

オ 自然科学の読書啓発のための「サイエンスカフェ」（西部図書館）

カ 図書館まなびトーク（西部図書館）

キ その他

**(1) 読書週間関連業務**

ア 図書リスト、パスファインダーの作成・配布（県立3館）

イ 読書普及のための資料展示（県立3館）

ウ その他

**(2) こども読書週間関連業務**

ア こども読書の日記念展示会の開催（中央図書館、東部図書館）

イ 児童図書の充実（中央図書館）

ウ 児童資料室の展示の充実（中央図書館）

エ ちいさいひとのおはなし会（中央図書館）

オ その他

**(3) その他**

ア 県立図書館ホームページの充実

イ 企画展示の開催

　　県民のニーズを踏まえた課題解決型の企画展示の開催（中央図書館）

ウ その他

## 5 研修業務

市町村立図書館職員等の資質向上を図るため各種研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努める。

(目標値⑯ 研修会の参加者数 500人 再掲)

(目標値⑰ 研修会の講師件数 20件)

### 【中央図書館】

\*開催年月日等は予定です。

事業名	年月日	会場	参加予定数	備考
公共図書館新任職員研修会	平成23年5月18日(水)	県文書館	70人	
公共図書館中堅職員研修会	平成23年10月12日(水)	中央図書館講堂	30人	
児童サービス基礎研修会 第1回	平成23年6月2日(木)	中央図書館講堂	40人	
第2回	平成23年7月7日(木)	中央図書館講堂	40人	
第3回	平成23年9月8日(木)	中央図書館講堂	40人	
第4回	平成23年11月18日(金)	千葉市民会館	100人	
地域行政資料研修会	平成23年7月13日(水)	中央図書館講堂	40人	
レファレンス研修会(基礎研修)				
第1回	平成23年6月1日(水)	中央図書館講堂	40人	
第2回	平成23年6月23日(木)	中央図書館講堂	20人	
第3回	平成23年6月24日(金)	中央図書館講堂	20人	
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	平成23年11月11日(金)	中央図書館講堂	40人	
千葉県読書グループ研修会	平成23年6月8日(水)	中央図書館講堂	100人	協力
図書館音訳者養成講座	平成24年1月11日(水)・ 18日(水)	中央図書館講堂	45人	
障害者サービス入門講座	平成23年7月12日(火)	中央図書館講堂	30人	
障害者のための読書支援機器活用 講座	平成23年8月25日(木)・ 9月6日(火)・11月 15日(火)	中央図書館講堂	20人	
障害者のための点字ディスプレイ 活用講座	平成23年11月8日(火)	中央図書館講堂	10人	
障害者のための電子書籍活用講座	平成23年12月6日(火)	中央図書館講堂	10人	

### 【西部図書館】

\*開催年月日等は予定です。

事業名	年月日	会場	参加予定数	備考
障害者サービス研修会	平成23年6月15日(水)	西部図書館研修室	30人	
図書館ボランティア研修会	平成23年7月6日(水)	西部図書館研修室	30人	
図書館ネットワーク研修会	平成23年11月17日(木)	西部図書館研修室	30人	
資料補修研修会	平成23年12月8日(木)	西部図書館研修室	30人	
図書館音訳者養成講座(中級)	平成23年11月2日(水) ・9日(水)・30日(水)	西部図書館研修室	30人	

## 【東部図書館】

\*開催年月日等は予定です。

事業名	年月日	会場	参加予定数	備考
図書館運営研修会	平成23年6月17日(金)	東部図書館研修室	50人	
読書施設担当職員・学校図書館職員のための資料検索研修会	平成23年7月22日(金)	東部図書館会議室	15人	
図書館音訳者養成講座	平成23年11月1日(火)・8日(火)・15日(火)・22日(火)・29日(火)	東部図書館研修室	30人	

## 6 電算業務

### (1) 業務系システム

県立図書館の電算システムは、昭和59年度から開発した独自システムを西部図書館開館時(昭和62年)に導入したのが最初である。平成8年度には同システムの改良版を中央図書館に、また、平成10年度に開館した東部図書館にも導入することにより、3館単独の電算システム運用体制が整備された。

その後、平成19年2月1日から、3館のシステムを統合した「千葉県立図書館統合電算システム」に移行し、中央図書館が管理・運用を行っている。

今年度は、前年度に引き続き次期「千葉県立図書館情報システム」の導入に向けた準備を進める。

### (2) インターネット系システム

「千葉県立図書館ホームページ」(<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>)については、中央図書館電算システムの更新に合わせて平成13年4月1日から公開した。同時に、県と市町村等の図書館の蔵書が同時に検索できる「千葉県内図書館横断検索システム」を採用し、毎年度参加館を追加してきた(市町村の参加は平成23年3月末で33市4町1大学68館)。

なお、22年度の東庄町の参加により県内で蔵書公開をしている市町村立図書館がすべて網羅されることになり、さらに市町村立図書館以外の施設として初めて千葉大学附属図書館が横断検索システムに加わっている。

(目標値④ ホームページへのアクセス件数 570,000件)

#### 《横断検索参加自治体及び施設一覧》

参加年度	参 加 自 治 体 等
平成13年度	市川市、浦安市、香取市、佐倉市、千葉市、南房総市、四街道市
平成14年度	山武市、成田市、船橋市、八千代市、横芝光町
平成15年度	旭市、我孫子市、市原市、袖ヶ浦市、八街市
平成16年度	匝瑳市、富里市、松戸市
平成17年度	君津市、白井市、東金市
平成18年度	印西市、木更津市、銚子市
平成19年度	流山市、習志野市、野田市、茂原市
平成20年度	大網白里町、柏市、館山市
平成21年度	印旛村、鎌ヶ谷市、鴨川市、酒々井町
平成22年度	東庄町、千葉大学附属図書館

平成23年3月現在

**【平成23年度図書館サービス目標】**

区分	サービス評価指標	23年度達成目標	達成方法
1 所蔵資料の充実	① 資料受入冊数	28,300冊 【うち購入 20,320冊】 【うち寄贈 7,980冊】 (平成22年度実績 26,342冊)	①県民の調査研究活動を支援するために必要な資料を購入するように努めます。 ②3館で効果的な分担収集を進めます。 ③出版情報の収集等に努め、寄贈依頼を積極的に行います。 ④光をそぞぐ交付金により、児童・生徒のための読書環境整備のための資料等を購入します。 ⑤千葉県公立学校教職員互助会からの寄贈により学校図書館支援用図書等の整備を行います。
2 来館利用・情報アクセスの充実	② 来館者数	508,000人 (平成22年度実績 507,703人)	県民の課題解決に役立つ展示や集会行事に努力するとともに、積極的な広報にも力を入れ、県民の来館を促します。
	③ 来館者満足度	満足度 70 %以上 (満足度6段階の上位2段階) (平成22年度実績 74.5%)	①接遇などの館内研修に努め、利用者に気持ちよく利用してもらえるように、サービス向上に努めます。 ②研修等により、職員のスキルアップに努め、質の高いサービスの提供を目指します。
	④ ホームページへのアクセス件数	570,000件 (平成22年度実績 555,408件)	①ホームページに掲載する内容の充実を図ります。 ②県立学校への物流体制を確保し、ホームページから調べ物学習支援用資料の申込みができるようにします。
3 レファレンスサービスの充実	⑤ レファレンス件数	35,000件 (平成22年度 34,913件)	①利用者にレファレンスサービスについて積極的に広報し、利用の促進に努めます。②利用者への明るい対応を心がけるとともに、プロアワーカーを推進して気軽に相談できる雰囲気作りに努めます。
	⑥ 【新規】調べ方案内(パスファインダー)の作成件数	12件	テーマ別にパスファインダーを作成し、レファレンスの効率化や活性化を図ります。
	⑦ 【新規】国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの事例提供件数	65件	レファレンス事例データを国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供します。
4 千葉県関係情報の充実	⑧ 【新規】千葉県関係データベース入力件数	5,500件	千葉県関係のデータベースのデータの蓄積、内容の精度を高めるなど充実を図ります。
	⑨ 【新規】千葉県関係レファレンス件数	1,500件	中央図書館千葉県資料室の豊富な資料を利用して、千葉県関係資料に関する調査回答の一層の向上に努めます。
5 学校教育支援・家庭教育支援	⑩ 【新規】教職員等に対する研修等の開催回数及び講師派遣件数	12回	①教職員の会議・集会等で、県立図書館が職員を講師派遣することを周知するよう努めます。 ②講師が務められる職員を養成します。
	⑪ 【新規】県立学校等への資料貸出冊数	13,000冊	①県立学校等への運営相談を通じて利用促進のPRに努めます。 ②県立学校等に対する支援や連携の強化に努めます。

6児童サービスの充実	⑫児童書の資料貸出冊数	35,000冊 (平成22年度実績 34,785冊)	①学校連携を推進し、学校への貸出しを増加させます。 ②市町村立図書館への援助に努力し、貸出しを増加させます。 ③公民館図書室等図書館のない自治体への援助に努力し、貸出しを増加させます。
	⑬【新規】児童サービスの研修会の開催回数	6回	①児童サービスの基本について、県内図書館員を対象に研修を実施します。 ②読み聞かせボランティアの育成に努力します。
7障害者サービスの充実	⑭録音図書貸出タイトル数	10,000タイトル (平成22年度実績 9,946タイトル)	①録音図書のデータを全国のネットワークに提供し、利用促進に努めます。 ②県民向けの講座の開催やホームページでの広報を充実し、県民が障害者サービスへの理解を深めることに努め、利用促進に努めます。
8市町村立図書館等との連携強化	⑮県立図書館蔵書貸出冊数	94,000冊 (平成22年度実績 93,052冊)	①相互協力担当者会議の開催、市町村立図書館等への訪問や運営相談を通じて、県立所蔵資料の利用促進を図ります。 ②県立図書館の資料は図書館ネットワークにより最寄りの市町村立図書館等を通じて情報共有し、実践的で効果的な研修を実施します。
	⑯【新規】研修会の参加者数	500人	②研修時のアンケート結果や先進事例を検討し、ニーズに合った研修を実施します。
	⑰【新規】市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数	85,500冊	①相互協力担当者会議の開催や相互協力支援システムの活用により利用促進に努めます。 ②千葉県内図書館横断検索システムや図書館ネットワークの広報に努めます。
9研修等の充実	⑱【新規】研修会の講師件数	20件	職員が研修会の講師を積極的に勤めることにより、職員のもつ知識を広め、あわせて研修会の内容の充実を図ります。
	⑲図書館ボランティアの育成者数	280人 (平成22年度実績 277人)	①音訳者に必要な知識や技能の向上を図るため、図書館音訳者養成講座を行い、育成に努めます。 ②「子どもの本の読み聞かせ講座」を実施し、ボランティアの育成に努めます。 ③県民のボランティア活動を支援します。

## II 事業報告

### 平成22年度事業報告

#### 概況

県立図書館は、運営方針に基づき、県内公共図書館の中核としての県立中央図書館、県西部地域の図書館を援助する県立西部図書館、県東部地域の図書館を援助する県立東部図書館の3館の密接な連携により、県内公共図書館への援助、県内の中核的調査研究図書館としての情報・資料の提供、図書館未設置市町村の読書施設に対する資料援助や運営相談及び職員研修等の幅広い図書館活動を行った。

平成22年度は県立3館共同で県民の本棚事業を実施し、「県民の本棚～でいい、ふれあい『ちばの100冊』～」選定などを行った。また、中央図書館では関係機関の協力を得て企画展示「千葉の文化、再はっけん！～『八犬伝』の楽しさ紹介します～」を、西部図書館では図書館を利用して生涯学習を行っている方々の発表の場として「図書館まなびトーク」を開催した。東部図書館では、国民読書年記念歴史講座「村落生活と和算一東総を中心に一」を開催した。

なお、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、次のとおり臨時休館した。

中央図書館：3月12日から4月20日まで

西部図書館：3月12日及び3月24日

東部図書館：3月12日から13日まで

震災後に東京電力が実施した計画停電の影響は受けなかったが、節電に協力するため、平日午後7時までの開館時間を2時間短縮し、午後5時閉館とした（5月1日から通常の開館時間に戻る。）。

#### 図書館事業概要

項目		館名	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計
資料整備	受入冊数	11,680 冊	4,990 冊	9,672 冊	26,342 冊	
	(内購入冊数)	(7,423 冊)	(3,339 冊)	(8,015 冊)	(18,777 冊)	
	購入費	34,000 千円	20,000 千円	31,000 千円	85,000 千円	
蔵書数(平成23年3月末現在)	852,177 冊		248,066 冊	237,140 冊	1,337,383 冊	
	新聞・雑誌・法規集	80紙・3,389誌・35種	87紙・628誌・9種	28紙・376誌・4種	195紙・4,393誌・48種	
サービス	入館者数	97,766 人	225,925 人	184,012 人	507,703 人	
	登録者数	14,655 人	21,783 人	11,306 人	47,744 人	
	個人貸出	58,560 冊	65,694 冊	60,550 冊	184,804 冊	
業務	資料複製サービス	145,600 枚	76,937 枚	10,668 枚	233,205 枚	
	参考調査 照会・質問	12,864 件	15,304 件	6,881 件	35,049 件	
業務	県立図書館蔵書貸出冊数	41,892 冊	18,814 冊	32,346 冊	93,052 冊	
	市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数	41,541 冊	31,076 冊	12,774 冊	85,391 冊	
管内人口(平成23年1月1日)						6,217,857 人

備考 蔵書数にはマイクロ資料、視聴覚資料を含む。

#### 1 資料の収集

##### (1) 県立全館の資料整備

県民の調査研究活動を支援するため、また、県内の市町村立図書館等への協力・援助を行うため、中央図書館・西部図書館・東部図書館が連携・分担して収集整備した。

##### 資料整備実績

区分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計	目標値
購入図書資料	7,423 冊	3,339 冊	8,015 冊	18,777 冊 (101.0%)	18,600 冊
寄贈図書資料	4,257 冊	1,651 冊	1,657 冊	7,565 冊 (91.1%)	8,300 冊
千葉県関係資料 (購入・寄贈の内数)	2,640 冊	556 冊	503 冊	3,699 冊 (115.6%)	3,200 冊
逐次刊行物(購入)	204 タイトル	457 タイトル	307 タイトル	968 タイトル	

※( )内は、目標値に対する達成率

(2) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館除籍資料等を収集した。

区分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計	当初計画値
図書	375 冊	0 冊	121 冊	496 冊	—
雑誌	113 冊	528 冊	0 冊	641 冊	—

2 奉仕業務

来館する利用者に閲覧、貸出し、資料複製等のサービスを実施し、県民から寄せられる口頭、電話、メール、文書等による、資料に関する調査・相談等に応じた。千葉県関係資料、児童サービスでは中央図書館が県内のセンター館としての活動を行い、障害者サービスは県立図書館3館が連携・協力してサービスの充実に努めた。また、中央図書館では、関係機関の協力を得て企画展示「千葉の文化、再はっけん！～『八犬伝』の楽しさ紹介します～」を実施した。参考業務では、県民が資料・情報を効率的に探せるようにパスファインダーの作成に着手した。

【中央図書館】

22年度の新規事業として、「障害者のための点字ディスプレイ活用講座」「障害者サービス入門講座」を実施した。児童サービスでは、絵本の読み聞かせ等の講師に職員を積極的に派遣した。

<平成22年度実施事業>

事業計画	実施状況
定例おはなし会 毎週土曜日 午後	全45回 語り手 当館児童資料室司書他 参加者延べ249人 平均5.5人/回
図書館活用ミニ講座 毎週金曜日	「県立図書館OPACの使い方」等全9回 講師 当館職員 参加者延べ12人 平均1.3人/回
図書館音訳者養成講座 全3回	11月18日（木）、26日（金） 「音訳のための読みについて」 講師 フリーアナウンサー 高山久美子氏 11月30日（火） 「音訳者に役立つサピエ図書製作支援システム活用法」 講師 東京ヘレン・ケラー協会点字図書館 堀江達朗氏 参加者延べ35人 平均11.7人/回
子どもの本の読み聞かせ講座 全2回	千葉会場 8月20日（金） 講師 船橋市・ゆか下文庫 小谷孝子氏 参加者45人 栄会場 1月27日（木）、28日（金） 講師 船橋市・にんじん文庫 入交静氏 参加者延べ67人 平均37.3人/回
春のおはなし会 (国民読書年記念)	4月24日（土） 語り手 当館児童資料室司書他 参加者 21人
冬のおはなし会 全2回	12月12日（日） 語り手 当館児童資料室司書他 参加者 ちいさいひとの会 34人 おおきいひとの会 20人
アドベンチャーライブリー（図書館探検） 1回	8月25日（水） 参加者 小学生8人
書庫見学会 第2金曜日 第4日曜日他	全20回 参加者延べ62人 平均3.1人/回
障害者のための読書支援機器活用講座	9月7日（火） 9月15日（水） 9月24日（金） 参加者延べ49人 平均16.3人/回
障害者のための点字ディスプレイ活用講座	11月9日（火） 参加者 9人
障害者サービス入門講座（新規） (国民読書年記念)	12月21日（火） 参加者 29人
講師派遣(読み聞かせ講座等) 全14回	当館司書 赤沼知里、平塚明子、中野晶子他 参加者延べ 989人

## 出版放送関係への資料提供

平成22年度：7件

資料名	出版物・番組名	出版・製作者名
地方資料小艦	印西市歴史読本 近代・現代編	印西市教育委員会

## 【西部図書館】

生涯学習の発表の場「図書館まなびトーク」を冊子としてまとめるとともに、国民読書年記念として、県雇用労働課協力による「中高年齢者再就職支援セミナー」など5講座を開催した。

障害者サービスについては、「図書館音訳者養成講座（中級）」（3回）に加え「DAISY編集講座」（3回）を新規に実施したほか、読書相談・利用案内など、幅広い情報提供に努めた。また、当館の特色（自然科学・工学）を活かした夏休み講座「サイエンス・カフェ」を開催した。

## &lt;平成22年度実施事業&gt;

事業計画	実施状況
DAISY編集講座 全3回	6月9日（水）7月2日（金）21日（水） 「DAISY編集について（実践講座）」 講師 音訳者 大内素子、深井ちえ子氏 参加者延べ12人 平均4人/回
読書ボランティア入門講座 (国民読書年記念)	7月1日（木） 「読書及び図書館ボランティア 概論、各論」 発表者 当館職員 参加者14人
障害者サービス入門講座 (国民読書年記念)	7月28日（水） 内容「図書館関係の障害者サービスについて 概論」 講師 県立中央図書館 副主査 松井 進 「同 各論」発表者 当館職員 参加者14人
サイエンス・カフェ (国民読書年記念)	8月21日（土） 「第50次南極地域観測越冬隊員として過ごした南極での1年間について」 講師 武田康男氏 参加者34人
中高年齢者再雇用支援セミナー (国民読書年記念)	10月22日（金） 「再就職について（講義）」 講師 ちば仕事プラザ キャリアコンサルタント 徳田敦子氏 参加者30人
ワンポイント図書館活用講座 1回 (中高年者に向けた再就職支援セミナー同時開催)	10月22日（金） 「千葉県立図書館の就業支援について」 発表者 当館職員 参加者30人
図書館まなびトーク 1回 (国民読書年記念)	11月26日（金） 座談会「学びトーク発表後の学習状況について」 発表者 第1回～第5回発表者9名、コーディネーター 県立東部図書館長 堀越 崇 参加者10人
図書館音訳者養成講座（中級） 3回	11月5日（金）10日（水）17日（水） 「音訳のための发声について」 講師 フリーアナウンサー 高山久美子氏 参加者延べ36人 平均12人/回
障害者用読書支援機器活用講座	2月16日（水） 「視覚障害者情報ネットワーク「サピエ図書館」の体験」 講師 サピエ東京サポートセンター長 荒川明宏氏、 利用者・音訳ボランティアとの懇談会 参加者13人

**【東部図書館】**

障害者サービスについては、「図書館音訳者養成講座」を開催し、聴きやすい録音図書製作技術の習得を目指した。また、「名作映画鑑賞会」を旭DVD愛好会の協力を得て毎月開催とともに、図書館利用の一層の拡充を図るため、図書館見学と検索研修を行う「図書館の達人（初級編、中級編）」を実施した。

**<平成22年度実施事業>**

事業計画	実施状況
図書館音訳者養成講座 全5回	9月1日(水)、8日(水)、15日(水)、29日(水)、1月27日(木) 講師 松本久美子 氏 第1回 「アクセント辞典を使いこなすために①」 第2回 「」 ② 第3回 「修正を少なくする録音方法①」 第4回 「」 ② 第5回 「視覚障害者と共に歩む一步の会とボランティア活動」 講師 NPO一步の会理事長 岩野英夫 氏 参加者延べ39人 平均7.8人/回
歴史講座 1回	11月27日(土)「村落生活と和算」－東総を中心に－ 講師 明治大学講師 鈴木秀幸 氏 参加者 36人
名作映画鑑賞会 毎月第3土曜日 全11回	4月17日 「おくりびと」 滝田洋二郎監督 2008年 5月15日 「チート」 セシル・B・デミル監督 1915年 6月19日 「奥さまは魔女」 ルネ・クレール監督 1942年 7月17日 「ヒロシマナガサキ」 スティーヴン・オカザキ監督 2007年 9月18日 「賛の森」 河瀬直美監督 2007年 10月23日 「未完成交響曲」 ヴィリー・フォルスト監督 1933年 11月20日 「悪魔をやつつけろ」 ジョン・ヒューストン監督 1953年 12月18日 「石の花」 アレクサンドル・プトウシコ監督 1946年 1月15日 「ジャングル・ブック」 ゾルタン・コルダ監督 1942年 2月19日 「真珠湾攻撃」 ジョン・フォード監督 1943年(1995年公開) 3月19日 「恋文」 田中絹代監督 1953年 参加者延べ276人 平均25人/回
資料展示 展示コーナー 4回	展示コーナー 4回実施 (4月～7月)「2010年・宇宙の旅－宇宙(そら)への憧れ－」 (7月～10月)「野球の歴史－野球の誕生からWBC優勝まで－」 (10月～12月)「東部図書館ベストリーダー 1998.11～2010.9」 (1月～4月)「昭和歳時記－古き良き時代、暮らしの移り変わり－」 資料紹介コーナー 11回実施
資料紹介コーナー 11回	
図書館の達人 (初級編) 第2日曜日 全8回	5月9日、7月11日、8月8日、10月10日、11月14日、 12月12日、1月9日、2月13日 参加者延べ8人 平均1人/1回
図書館の達人 (中級編) 全2回	7月14日、1月26日 参加者延べ3人 平均1.5人/1回

### 3 協力・援助業務

市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行った。また、県立3図書館間、県立図書館及び市町村立図書館間に連絡車・協力車を定期的に巡回させ、相互貸借の資料を搬送した。

さらに、市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等に対して、運営相談・協力レンタル等を通じた援助を行うとともに、高校・大学及び類縁機関等との連携、読書活動の充実に努めた。

22年7月1日に千葉大学附属図書館と県立図書館が相互協力に関する協定を締結し、蔵書の貸借と資料の複製について、相互協力の関係が整備された。

#### 【県立図書館3館】

- ア 市町村立図書館等相互協力担当者会議（4月23日（金）  
41市町村 64人出席

#### 【中央図書館】

- ア 行政支援  
県民生活の維持向上などに係る施策を企画・立案している県庁各課へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行った。（貸出冊数 1,045冊）
- イ 運営相談  
図書館及び高等学校等からの問い合わせに応じ、延べ76回の運営相談を実施した。
- ウ 県内の読書活動を推進するため、千葉県読書グループ連絡会に協力して、千葉県読書グループ研修会を開催した。また、読書会用のテキストとして十冊文庫を整備した。  
<十冊文庫>  
整備数 15 (総タイトル数 1,384)

#### 【西部図書館】

- ア 市立図書館相互協力担当者会議（10月7日（木）  
11市 21人出席
- イ 新聞雑誌総合目録データ  
千葉県公共図書館協会加盟館及び千葉県文書館、千葉県立保健医療大学、さわやかちば県民プラザが所蔵する新聞・雑誌のデジタルデータを提出してもらい、県立図書館ホームページで公開した。
- ウ 広報・支援活動  
市立図書館への広報として3館での相互協力NEWS担当発行と共にエリア内へのメールマガジン“Ciao Ciao” 6回発行。また図書館及び連携する高等学校に対する運営相談を実施した。（図書館63回、高等学校17回）さらに高等学校支援として各教科・総合的な学習の時間での活用事例集やワンポイントアドバイスの配布等を行なった。

#### 【東部図書館】

- ア 市町立図書館及び未設置町公民館図書室に対する運営相談  
図書館及び公民館図書室等に対し延べ80回の運営相談を実施した。
- イ 高等学校等支援
  - ・東総地区高等学校図書委員連絡協議会と共に総会及び研究会を開催。「ブックカバーの製作～ステンシル技法を用いて～」と題して、ブックカバーの製作やステンシル技法について講義と実技を行った。（12校、生徒33人、引率職員14人）
  - ・進路学習への協力  
千葉県立成東高等学校の進路学習のための特別授業としての大学模擬講義に対し、事前学習用資料を提供した。
  - ・運営相談の実施  
東部図書館奉仕対象地域内の高校20校及び大学2校に対し、延べ66回の運営相談を実施した。

#### 4 研修事業

市町村立図書館職員等の資質向上を図るため各種の研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努めた。

##### 【中央図書館】

事 業 計 画	実 施 状 況
公共図書館新任職員研修会 1回 参加予定数70人	5月19日(水) 「公共図書館の役割、利用サービス、レンタルサービス及び相互協力業務等」 講師 当館司書 伊藤博、大石豊、赤沼知里 中野晶子 参加者 71人
公共図書館中堅職員研修会 1回 参加予定数30人	3月2日(水) 「行列のできる講座・イベントとチラシの作り方」 講師 牟田静香氏 参加者 26人
児童サービス基礎研修会 全4回	第1回 6月3日(木) 「児童奉仕概論」 講師 船橋市中央図書館主査 貞方厚代氏 参加者 27人 第2回 7月15日(木) 「絵本・物語の選書について」 講師 千葉市稻毛図書館副主査 川崎玲子氏 参加者 23人 第3回 9月17日(金) 「ノンフィクションの選書について」 講師 茂原市立図書館司書 木島悦代氏 「絵本の読み聞かせとおはなし会の運営」 講師 当館司書 平塚明子 参加者 25人 第4回 11月11日(木) 「ブックスタートについて」 講師 特定非営利活動法人ブックスタート 出原道恵氏 「レンタルサービスについて」 講師 当館司書 赤沼知里 「絵本の読み聞かせ実習」 講師 当館司書 平塚明子 参加者44人 延べ119人 平均29.8人/回
地域行政資料研修会 1回 参加予定数40人	7月1日(木) 「私と『船橋の地名』」 講師「船橋の地名」研究会代表 滝口昭二氏 「地域行政資料の探し方入門」「ビギナーのための地域行政資料入門」 講師 当館主査 古谷由美子・当館司書 山田浩子 参加者 23人
レンタルサービス研修会 レンタルサービス基礎研修 2回 参加予定数80人	5月26日(水) 「レンタルサービス実践の基礎」 講師 当館主任司書 大石豊 「レンタルサービスインタビュー」 講師 当館司書 田中雅美 参加者 32人 6月10日(木) 11日(金) 「インターネットを活用した調べ方」 講師 当館司書 奈良伸一郎、高梨涼子 参加者 40人
レンタルサービス研修会 インターネット情報検索研修 1回 参加予定数20人	10月21日(木) 「インターネットによる情報検索事例の検討」 講師 青山学院大学教授 小田光宏氏 参加者 18人
レンタルサービス研修会 レンタルサービス専門研修 1回 参加予定数40人	3月9日(水) 「法情報（法令・判例）の調べ方」 講師 筑波大学法科大学院非常勤講師 いしかわまりこ氏

事 業 計 画	実 施 状 況
	事例発表「千葉県立中央図書館における法情報（法令・判例）の提供」 事例発表者 当館主任司書 大石豊・当館司書 田中雅美 参加者 34人
千葉県読書グループ研修会（協力） 1回 参加予定数 50人	6月3日（木） 「島崎藤村・人と作品」 講師 千葉宣朗氏 参加者 68人
図書館音訳者養成講座 全2回 参加予定数 30人	前掲（P15）
障害者のための読書支援機器活用講座	前掲（P15）
障害者のための点字ディスプレイ活用講座	前掲（P15）
障害者サービス入門講座	前掲（P15）

【西部図書館】

事 業 計 画	実 施 状 況
図書館ネットワーク研修会 1回 参加予定数 30人	10月7日（木） 「デジタルネットワーク社会における図書館について」 講師 日本図書館協会理事・事務局次長 常世田良氏 「野田市立図書館サイトの運営事例～外部データ活用と見つけてもらえる情報発信～」 発表者 野田市立図書館主任主事 川嶋齊氏 参加者 37人
資料補修研修会 1回 参加予定数 30人	12月9日（木）「図書館資料の補修方法について」 講師 キハラ（株）高尾齋氏 参加者 23人
障害者サービス研修会 1回 参加予定数 30人	6月16日（水） 「患者・家族・市民に対する図書館サービス」 講師 日本病院患者図書館協会会長 菊池佑氏 事業報告「県立図書館の障害者サービスの状況」 報告者 当館主任主事 松元梢 参加者 14人
図書館音訳者養成講座（中級） 全3回 参加予定数 各回 40人	前掲（P16）

【東部図書館】

事 業 計 画	実 施 状 況
図書館運営研修会 1回 参加予定数 50人	6月25日（金） 「図書館の危機管理～トラブルへの対応をとおして～」 講師 千葉県総合企画部参事 鎌水三千男氏 参加者 41人
読書施設担当職員・学校図書館職員のための資料検索研修会 1回 参加予定数 15人	7月23日（金） 県立図書館ホームページの検索等を体験することにより、利用者の求めに的確に応え、相互協力の一層の活用を促すための講義及び実習 講師 当館主査 深田あけみ、澤田弘子 参加者 8人
図書館音訳者養成講座 全5回 参加予定数 30人	前掲（P17）

## 5 電算業務

横断検索参加自治体等に 1 町 1 大学（東庄町、千葉大学附属図書館）を追加したので、平成22 年度末の参加自治体等数は33市 4 町 1 大学（68館）となった。

ホームページへのアクセス件数 555,408件

## 6 その他

平成23年 3月11日に発生した東日本大震災による被害等の状況は、次のとおりである。

### 【中央図書館】

#### ア 施設等の被害

ガラス破損、壁面亀裂及びモルタル剥離等多数、空調機熱交換器破損、図書の落下  
(約 1 万 2 千冊)

#### イ 運営状況

3月 12 日から 4 月 20 日まで臨時休館中、電話での利用案内や、文書、電話、メールによるレファレンス及び障害者のための郵送貸出を通常どおり実施。また、4月 1 日から千葉県文化会館ロビーに、予約本貸出及び返却のための臨時窓口を設置。

4月 21 日から 30 日までの平日の開館時間を 2 時間短縮（午後 5 時閉館）。

### 【西部図書館】

#### ア 施設等の被害

受水槽の漏水、建物内壁、外壁に多数の亀裂、図書の落下（約 7 万 5 千冊）

#### イ 運営状況

3月 12 日と 3 月 24 日を臨時休館、3月 15 日から 4 月 30 日までの平日の開館時間を 2 時間短縮（午後 5 時閉館）。

### 【東部図書館】

#### ア 施設等の被害

中 3 階書庫固定書架支柱湾曲（5 箇所）、建物周囲インターロッキング隆起陥没（数箇所）、閲覧室内防煙垂れ壁ガラスひび割れ（2 箇所）、閲覧室内天井石膏ボード破損（4 箇所）、図書の落下（約 1 千冊）

#### イ 運営状況

3月 12 日から 13 日まで臨時休館、3月 15 日から 4 月 30 日までの平日の開館時間を 2 時間短縮（午後 5 時閉館）。

## 平成22年度 千葉県立図書館の運営状況の評価

### 1 千葉県立図書館のサービス評価指標概要

#### (1) 目的

千葉県立図書館（中央図書館、西部図書館、東部図書館）の運営の改善を図るために、サービス評価指標を設定し、その達成に努める。また、その達成状況の自己点検及び第三者評価を踏まえ、図書館サービスの一層の改善に努めるとともに、第三者評価を踏まえた運営状況を公表するものとする。

#### (2) 期間

平成20年度から平成22年度までの3年間とする。平成22年度目標値は3年間の総括である。

#### (3) 評価項目

- ① 運営方針等に掲げる事項に沿って20項目の評価指標を設定した。数値目標を16項目、定性的目標4項目（2項目途中追加）
- ② 利用者満足度は利用者アンケート調査による。

### 2 図書館協議会による評価

#### (1) 協議会の開催 平成23年7月27日(水)

#### (2) 総評(意見)

##### 委員意見

○図書館が本当にいろいろな講座を開いて県民にサービスを提供しているが、ほとんど知られていない。広報についての取組みを充実してほしい。

○A評価が13あり全体的に高い評価になっている。大変すばらしい評価である。

○図書館のボランティアの育成で、読み聞かせ講座をしただけでは実質ボランティアの育成にはならない。図書館ボランティアの育成は非常に難しい。

○学校図書館部会として、協力できることがあるので依頼していただきたい。

○自己評価基準についてC評価のところも限りなくBに近い評価である。内実を反映して示せる形にする方がよいと思われる。

評価基準を見直してはいかが。

### 3 達成状況の自己評価 (指標に対する達成率として、自己評価基準による)

区分	サービス評価指標	平成22年度達成目標	平成22年度達成状況	自己評価	摘要
1 所蔵資料の充実	① 資料購入冊数	18,600冊	18,777冊 (101.0%)	A	計画策定期から図書購入費7%減額となる中、3館でより緊密に連絡調整を行い分担して資料整備に努めた。
	② 寄贈資料受入冊数	8,300冊	7,565冊 (91.1%)	B	ホームページや図書館報に寄贈資料の依頼を掲載するなど広く寄贈を呼びかけたが、行政資料等インターネットで公開し刊行されない資料が多くなったため、寄贈による受入が減少した。
	③ 千葉県関係資料の受入冊数	3,200冊	3,699冊 (115.6%)	A	千葉県関係に関するさまざまな刊行情報の入手に努め購入するとともに、一般に流通しにくい資料等については発行人に積極的な働きかけを行うなど、収集資料の充実に努めた。
2 来館情報利用アクセスの充実	④ 来館者数	508,000人	507,703人 (99.9%)	B	企画展示をはじめとする諸事業の実施や広報などに努めたが、東日本大震災の影響で開館時間の短縮により目標まで達しなかった。
	⑤ 貸出冊数 (相互協力冊数を含む)	280,000冊	277,856冊 (99.2%)	B	東日本大震災での休館や開館時間の短縮の影響で、目標までに達しなかった。
	⑥ 来館者満足度	70%以上	74.5%	A	職員の対応や、相談したときの的確な回答、適切な資料提供などで、満足度が高く目標値を上回った。
	⑦ ホームページへのアクセス件数	580,000件	555,408件 (95.8%)	B	横断検索の参加自治体等を増やしたり、調べ方案内（パスファインダー）をホームページで公開する等情報発信に努めた。
3 レファレンスサービスの充実	⑧ レファレンス件数	32,000件	34,913件 (109.1%)	A	気軽に相談できる雰囲気作りや親切で的確な対応に努めるとともに、サービスについての積極的な広報、調査研究支援ツールの作成・充実に努めた結果、目標を達成した。
	⑨ 調査研究支援ツール作成件数	a レファレンス事例データ提供:190件 b パスファンダーの作成・更新:35件	(a: 212件 (111.6%) b: 36件 (102.9%)	A	国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベース事業に貢献したことでの表彰を受けた。パスファンダーの作成も着実に軌道に乗り定着した。
	⑩ 外部データベース件数	18件	17件 (94.4%)	B	迅速な情報検索やレファレンスサービスに有効な外部データベースの計画的な整備に努めた。

区分	サービス評価指標		平成22年度達成目標	平成22年度達成状況	自己評価	摘要
4 千葉県関係情報の充実	⑪	千葉県関係情報の発信	a: 千葉県関係索引データ作成件数 8,300件 b: 千葉県関係のテーマ展示 4回	a: 14,670件 (177.8%) b: 5回 (125.0%)	A	千葉県関係のデータベースについて計画的なデータの蓄積を行った。中央図書館においては定期的に千葉県関係のテーマ企画展も実施し、目標値を大きく上回った。
	⑫	資料の電子化	400タイトル		A	広く県民の調査研究に資するよう、千葉県関係の貴重資料を中心に電子化を着実に行い、ホームページ上で閲覧できるデータの蓄積を進めた。
5 ・家庭の教養充育実支援	⑬	学校教育支援・家庭教育支援の質的充実	学校図書館運営の充実や子どもの読書活動の推進に向けた支援用マニュアルの作成や連携の仕組みづくりに着手します。	学校図書館の活動に関する情報収集に努めた。また、児童のための推薦図書リスト「この本、読んだ? 2010~千葉県発 赤ちゃんから高校生までの104冊」の編集に携わった。	A	県立図書館内に学校連携プロジェクトチームを立ち上げ、連携の仕組みづくりを検討した。
6 児童のサービス充実	⑭	児童書の貸出冊数 (相互協力冊数を含む)	33,000冊	34,785冊 (105.4%)	A	児童資料室での個人貸出し、学校への相互協力とともに増加した結果、目標を大きく上回った。
	⑮	児童サービスの研修内容の質的充実	受講者アンケートで理解度・満足度ともに85%以上を目指します。	参加者のニーズを把握するため、アンケートを実施した結果、理解度95.6%、満足度97.8%を超えた。	A	事前課題を課し、質的充実、研修達成度を高めるようにした。
7 障害者のサービス充実	⑯	録音図書貸出 タイトル数	8,000タイトル	9,946タイトル (124.3%)	A	障害者のための読書支援機器活用講座や障害者サービス入門など、県民への広報に力を入れた結果、目標値を大きく上回った。
8 市町村トワード・ク図の書充館実	⑰	相互協力貸出冊数	90,000冊	93,052冊 (103.4%)	A	相互協力担当者会議や、市町村立図書館等への訪問・運営相談を通じて、県立図書館蔵書の利用促進を図った。また、市町村立図書館等職員や教職員を対象とした研修会などで相互協力について広報した。
	⑱	協力レファレンス件数	1,400件	1,170件 (83.6%)	C	ホームページの蔵書検索機能やレファレンス事例の充実により、軽微な所蔵調査が減少した。
9 職員研修等の充実	⑲	体系的・実践的な研修の実施	体系的・実践的な研修方法を検討し、段階的に研修の充実を図ります。	3館で29回の研修を実施し、参加者は延べ690人だった。 初任、中堅対象等の対象別研修、レファレンス、児童サービス、地域資料、障害者サービス、電算関係等の専門的なテーマの研修等を実施した。 過去の参加者アンケート等を参考に配布資料や実施方法の検討・改善を行った。	A	平成21年度に千葉県公共図書館協会で実施した「研修ニーズ調査」の結果や、過去のアンケート結果を活かし、演習方式など参加型の研修を増やした。また研修資料をホームページに掲載し参加できなかった県内図書館職員の自主研修を図った。
	⑳	図書館ボランティアの育成	320人	277人 (86.6%)	C	子どもの本の読み聞かせ講座は、当初2日間の講座を2回開催していたが、平成21年度より1回は1日コースにしたため、延べ参加者数が減少した。

#### 【自己評価基準】

ランク	評価内容	評価の目安
A	目標達成	100%以上
B	目標をほぼ達成	概ね90%以上100%未満
C	一定の成果はあったが未達成	50%以上90%未満
D	目標を著しく未達成	50%未満又は未着手
-	評価対象外	次年度以降に着手予定

### III 資料編

#### 1 沿革

年月	中央図書館
明治25. 5	本県初の図書館千葉県教育会附属書籍館（県立図書館の前身）が千葉市本町立真社楼上に開館
29. 9	千葉県教育会附属図書館猪鼻台に建設
32. 11	図書館令公布
40. 6	千葉県通俗巡回文庫開始
42. 3	千葉県通俗巡回文庫の運営を千葉県教育会附属図書館に委託
大正13. 3	「御成婚記念千葉県図書館」の設置を文部大臣認可 県教育会附属図書館を県に移管し、物産陳列館を仮館舎として開館
15. 11	千葉県図書館協会発足
昭和 5. 3	館報「千葉県図書館報」創刊（のちの「千葉文化」）
6. 7～8	最初の臨海図書館を千葉市出津海岸に開く
8. 7	図書館令施行規則公布
10	図書館令等の改正に伴い、知事から県中央図書館の指定
9. 7	県立図書館新館舎落成 11月10日開館
10. 8	県立図書館初代専任館長任命
23. 4～7	5分館（香取、山武、君津、海匝、安房）設置
24. 8	全国初の移動図書館誕生 名称「訪問図書館ひかり号」 9月14日から、市原、長生、夷隅地区巡回開始
25. 4	図書館法公布
26. 1	図書館法制定に伴う千葉県図書館設置条例の公布・施行により名称が「千葉県立中央図書館」となる
2	千葉県立中央図書館協議会設置
27. 4	移動図書館の全県巡回開始
29. 1	3分館（長生、安房館山、夷隅）設置
32. 4	教育機関設置条例公布・施行
7	千葉県公共図書館協会発足
39. 1	県警察本部庁舎新築のため書庫の大部分を取り壊し、図書を閲覧室に移動 閲覧室を仮設
43. 6	県立中央図書館新館舎落成（現館舎） 9月開館
49. 4	教育機関組織規則の改正により調査課設置

年 月	共通・中央図書館	西部図書館
昭和51. 9		「千葉県新総合 5か年計画」で東葛飾ブックセンターの設置計画を策定
52. 6	図書館協議会答申「県立中央図書館運営の基本方針について」において、県内 4 地域にブックセンター設置構想を提示	
10	「図書館協力車」、東葛飾地域等の市立図書館 8 館を対象に巡回開始	
53. 5	書庫増築工事（第1次）完成	
54. 7		図書館計画施設研究所に「仮称千葉県立北部図書館建設計画」基本調査を委託
54. 11		上記計画を策定
56. 4	「千葉県第2次新総合 5か年計画」で東葛飾ブックセンターの松戸市への設置計画を策定	(仮称) 東葛ブックセンター
57. 3	対面朗読室（2室）設置	
59. 3	書庫増築工事（第2次）完成	
59. 4	図書館協力車の図書館設置市町への全県巡回を実施	
59. 6		基本設計・実施設計を委託
60. 4		県教育庁社会教育課内に「西部図書館（仮称）準備班」を置き、業務を開始
60. 6		建設工事着工
62. 3	県立図書館の8分館を廃止	建設工事竣工
62. 4	移動図書館の貸出しを未設置市町村の読書施設への一括貸出方式に変更	「教育機関設置条例の一部を改正する条例」が議決され、県立西部図書館として機関設置（4月1日）
7		開館 電算機導入
平成 2. 7		書庫棟増築の基本設計を委託
9	千葉県社会教育委員会議から「生涯学習社会における県立図書館の整備について」の答申が出され、新県立中央図書館（仮称）及び県立地域図書館の整備等を県教育委員会に提言	
3. 5		書庫棟増築の実施設計を委託
6		増築関連工事を実施
10	「千葉県立図書館基本構想検討委員会」設置（県教育委員会）	本体建築工事着工
4. 3		「West Library」第1号刊行

年 月	共 通	中央図書館
平成 4. 4 8 9 10 5. 3		
5. 4 7	県立図書館の日曜全日開館開始	
6. 3	「千葉県立図書館基本構想」を策定（県教育委員会）	
6. 4 10		
8. 2		
8. 4 10		図書館業務に電算機導入
9. 4		図書館未設置市町村に対するサービスを来館方式とし、移動図書館車の巡回を廃止
10. 3		
10. 4 7		平成10年度文部省委嘱事業「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」実施（～11. 3）
11	個人貸出冊数を2冊から5冊（中央図書館は3冊）に変更	
11. 4 12 12. 3		国の緊急地域雇用対策特別基金事業に基づくデータ遡及入力（～13年度）
13. 3		一般閲覧室及びレファレンスルームのリニューアル実施
13. 4 7 14. 3	千葉県立図書館ホームページ公開 横断検索システム開始 協力車を全市町村へ巡回（業者委託） 「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が図書館法第18条の規定に基づき制定	電算機更新 新聞雑誌室、郷土資料室及び児童資料室のリニューアル実施

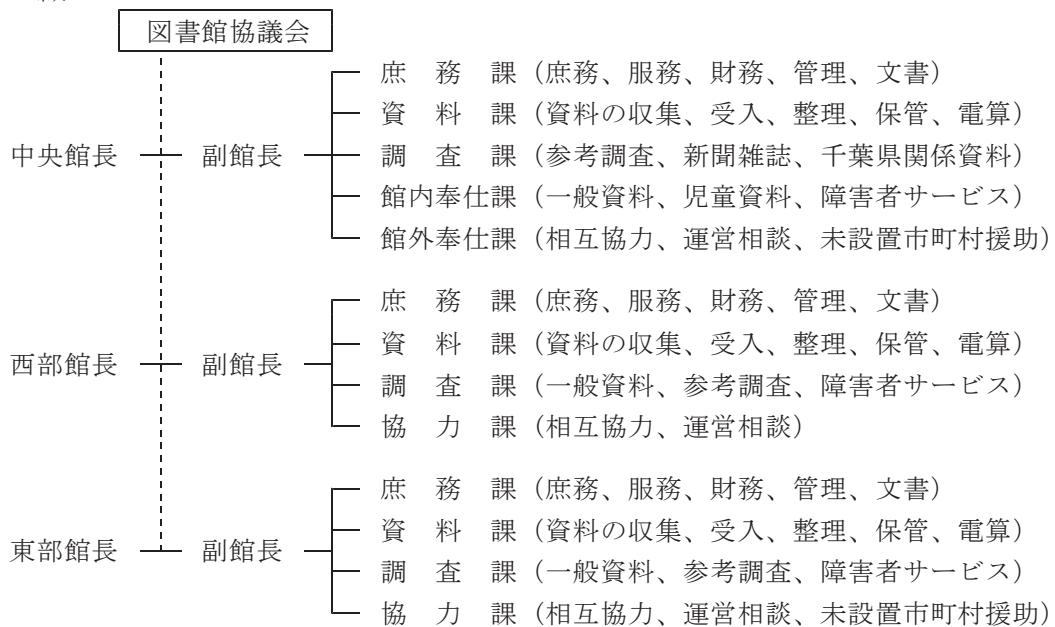
年 月	西部図書館	東部図書館
平成 4. 4	電算更新	
8	書庫棟増築部分の閲覧席使用開始	
9	書庫棟関連工事完了	県教育委員会が東部地域図書館の整備を決定
10	利用者用電算端末機設置	
5. 3	「千葉県立西部図書館書誌情報データベース CD-ROM版」(名称: Welcome) 発行	
5. 4		「千葉県立東部地域図書館(仮称)設置準備委員会」設置
7		「千葉県立東部地域図書館(仮称)基本計画」策定
6. 3		
6. 4		県生涯学習部社会教育課内に「県立図書館準備班」設置
10		「千葉県立東部地域図書館(仮称)基本設計」完了
8. 2		「千葉県立東部地域図書館(仮称)実施設計」完了
8. 4		
10		建設工事着工
9. 4	電算機更新	「県立図書館準備班」の名称が「東部図書館準備班」に改称
10. 3		建設工事完了
10. 4		「東部図書館準備班」旭市で開館準備業務開始
7		
11		「千葉県立東部図書館」として機関設置(11月1日)開館
11. 4		奉仕対象地域内高等学校図書館への資料貸出等を開始
12		中国語図書所蔵目録刊行開始
12. 3		韓国・朝鮮語図書所蔵目録刊行開始
13. 3		
13. 4		
7	入館者数300万人突破	
14. 3		「知識は旅をする」第1号刊行

年 月	共 通	中央図書館
平成14. 4 5 8 12 15. 3 15. 4 6 8 16. 8 10 17. 3	県立図書館の祝日開館開始  「千葉県子どもの読書推進計画」策定	国の緊急地域雇用対策特別基金事業に基づくデータ収集・入力（～16年度） 郷土資料室を千葉県資料室に名称変更 カラーコピーサービス開始 個人貸出冊数を3冊から5冊に変更
17. 4 10 18. 4 7 10 19. 1 2 19. 4 7 20. 2 3 20. 4 11 12 21. 4 6 22. 3 22. 7 23. 3	「文字・活字文化振興法」が成立  千葉県立図書館協議会から「これからの時代に求められる千葉県立図書館の在り方について」答申 電算システムの更新 千葉県立図書館統合電算システム稼働 インターネット図書予約システム、メールレファレンス、所蔵貴重書画像の公開の開始  相互協力支援システムを試行で導入 相互協力支援システムを本格実施 千葉県立図書館サービス評価指標（平成20年度～平成22年度）設定、第三者評価導入  電動書庫改修工事完了 千葉大学附属図書館との相互協力協定締結	県立中央図書館の一括貸出を廃止し、図書館間貸出しに一本化  アスベスト除去工事完了 ないぶネットの導入  インターネット情報検索用パソコン等による情報検索環境を整備  教育庁への情報提供サービスを開始（試行） 情報提供サービスの対象を全庁へ拡充 びぶりおネットの導入  電動書庫改修工事完了 千葉大学附属図書館との相互協力協定締結

年 月	西部図書館	東部図書館
平成14. 4	電算機更新、インターネットによる検索環境を整備（利用者用13台、持込用席4席）	
5	奉仕対象地域内高等学校図書館との相互協力業務開始	
8	カラーコピーサービス開始	
12	奉仕対象地域内高等学校図書館に対する協力車巡回サービス開始	
15. 3		
15. 4		電算機更新、インターネット情報検索用パソコン等による情報検索機能を整備
6	メールレファレンス（試行）の受付開始	入館者数100万人突破
8		
16. 8		「中国語図書目録」「韓国・朝鮮語図書目録」をホームページ公開
10	インターネットによる検索環境の見直し（利用者用16台・持込用席7席）	
17. 3	入館者数400万人突破	
17. 4		カラーコピーサービス開始
10		
18. 4	ないーぶネットの導入	
7		
10		
19. 1		
2	インターネットによる検索環境の見直し（利用者用24台）	
19. 4		ないーぶネットの導入
7	開館20周年記念事業開催	
20. 2		
3		
20. 4		入館者数200万人突破
11		開館10周年記念事業開催
12		
21. 4		駐車場増設（92台）
21. 6	入館者数500万人突破	
22. 3		
22. 7		
23. 3		

## 2 組織・職員

### (1) 組織



### (2) 職員

(平成23年4月1日現在)

館名	職名	館長	副館長	課長	主任司書	主査	司書	副主査	主任 主事	主事	主 事務 任 用員	主 務 任 員	小計	嘱託	日々雇用	合計
中央図書館	館長・男	1											1			1
	副館長・女		1 (1)										1 (1)			1 (1)
	庶務・男			1									1			1
	資料・女				1 (1)	1 (1)							3			3
	調査・男				1 (1)		3	2 (2)					2 (2)			2 (2)
	資料・女						1 (1)						5 (2)	1 (1)		6 (3)
	調査・女						2 (1)	3 (3)					2 (2)			2 (2)
	館内奉仕・男			1 (1)							1		2 (1)			2 (1)
	館内奉仕・女					1	3 (3)	1 (1)					5 (4)	4 (4)		9 (8)
	館外奉仕・男					1							2	1		3
	館外奉仕・女						1	1 (1)					1	3 (1)	2 (2)	6 (3)
	小計	1		5 (3)	1 (1)		1 (1)		1	1			10 (5)	1		11 (5)
			1 (1)			8 (1)	9 (9)	2 (1)			1	1	22 (12)	7 (7)	1	30 (19)
西部図書館	館長・男	1											1			1
	副館長・女		1 (1)										1 (1)			1 (1)
	庶務・男			1				2 (1)					3 (1)		1	4 (1)
	資料・女				1 (1)		1						2 (2)			2 (2)
	調査・男					1 (1)		1 (1)	1				3 (2)			3 (2)
	資料・女						2	2 (2)					4 (2)	5 (5)		9 (7)
	協力・男			1									1			1
東部図書館	協力・女						1 (1)	1 (1)					2 (2)	2 (2)		4 (4)
	小計	1		2 (1)			3 (3)	1					7 (4)	1		8 (4)
			1 (1)	2 (1)		4 (1)	3 (3)	2 (1)		1 (1)			13 (8)	8 (8)	1	22 (16)
	館長・男	1 (1)	1 (1)										2 (2)			2 (2)
	副館長・女												1			1
合計	庶務・男									1			1			1
	資料・女			1				2					3			3
	調査・男				1 (1)		1 (1)						3 (2)	1 (1)		4 (3)
	資料・女					1 (1)		1 (1)	1 (1)				3 (3)			3 (3)
	協力・男			1					1				2	8 (7)	1	11 (7)
	協力・女						2						1			1
	小計	1 (1)	1 (1)	2 (1)		1 (1)	1 (1)			1			2	1 (1)		3 (1)
				2 (1)		4	1 (1)	3					7 (5)			7 (5)
	合計	3 (1)	1 (1)	9 (5)	1 (1)	1 (1)	5 (5)	1	1	2			10 (2)	10 (9)	1	21 (11)
			2 (2)	4 (2)		16 (2)	13 (13)	7 (2)		1 (1)	1	1	45 (22)	25 (24)	3	73 (46)

( ) 内は司書有資格者数で内数。